

アキュラホーム 新生活応援情報誌『Comviy(コンビィ)』を創刊 全国アキュラネット会員 500 社、提携企業より無料配布

株式会社アキュラホーム（本社：埼玉県さいたま市・社長：宮沢俊哉）では、住宅の新築や住み替えなど、新生活をスタートさせるユーザー向けの役立ち情報やサービスなどをまとめた新生活応援情報誌「comviy（コンビィ）」を11月20日に創刊しました。

住宅の建替えにともなう引越や各種手続き、新たな生活に必要な備品の購入などは、いざとなると大変な労力が必要となるものです。まして、それが新しく移り住む土地であればなおのこと。新しいコンセプトの雑誌「comviy（コンビィ）」は、『新生活に必要な情報やサービスをまとめて提供すれば、ユーザーにとって便利ではないか』という発想から、各種サービスやグッズなど「新居にあるといいな」という便利情報を満載しています。

創刊号は、A4版、60ページ、発行部数10万部。全国500社を超える工務店ネットワーク「アキュラネット」をはじめ、全国の引越し専門業者など提携企業より新生活を始める人たちに無料で配布されます。注文や問い合わせは、24時間フリーダイヤルのコンビィ受付センターにて対応します。

今後弊社では、住宅建築を考えているユーザーへのサービス向上の一環として新生活応援情報誌「comviy（コンビィ）」を年3回定期発行します。



創刊号内容（一部）

【特集】

「引越手続きチェックリスト」「マイホームと税金」「広く住める収納のコツ」「家を立てる儀式」「カンタン省エネのコツ」「引越のマナー」 など

【商品・サービスのページ】

引越パワーアップ...「引越ギフト」「リサイクル」「鍵の救急」「照明」「電気工事」など

新生活パワーアップ...「お得な家電」「ふとん洗い」「防災用品」「火災保険」など

新居パワーアップ...「表札」「インテリア」「エアコン」「空気清浄機」「収納」「防犯」など

全国の提携企業企業

株式会社マミー、セイノー引越株式会社など。

「comviy（コンビィ）」への広告の申し込み、問い合わせはコンビィ編集部仲村まで。TEL:048-640-1655

< 会社概要 >

社名：株式会社アキュラホーム

社長：宮沢俊哉

所在地：埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5 ソニックシティビル 20F

電話：048-631-2333（代）

創業：1978（昭和53）年9月

資本金：5,000万円

従業員：180名

事業：建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング

業績：売上高 59億3,500万円（2003年2月期）

宮沢俊哉（アキュラネット主宰）

1959年、東京都生まれ。15歳で大工修行を始める。業界のずさんな体質に我慢できず、自ら住宅建設会社を設立。以来、お客様本位の高品質で低価格な住宅供給に励む。94年、独自の合理化ノウハウを体系化した、住宅建設合理化システム「アキュラシステム」の供給を開始。95年、建設省（当時）の住宅コスト低減アクションプログラム「プラス・YOU住宅コンペ」に入選。98年、自ら発起人となって地域密着型の全国のビルダー・工務店の会員組織「アキュラネット」を興す。

現在、アキュラネット主宰のほか、アキュラホーム社長、新世代木造住宅推進委員会幹事、いえづくり合理化推進協議会理事、（財）さいたま住宅検査センター理事、彩の国性能保証住宅連絡協議会会長、彩の国豊かな住まいづくり推進協議会理事を務める。著書に『家づくりはまかせなさい』（ビジネス社）、『新世代ハウス』（平源社）、『家づくりの「目利き」になる』（ダイヤモンド社）等がある。

㈱アキュラホーム

弊社アキュラホームは創業以来、埼玉県を営業圏に高品質、低価格をテーマに木造住宅専門に取り組んでいる地域ビルダーです。住宅事業の中で培った経験や技術力を活かし、1995年に「プラスYOU住宅入選」、1997年「木造住宅合理化システム認定」、1998年「新世代木造住宅供給システム認定」、1999年「優良な木造軸組住宅システム認定」などを取得してきた。

住宅事業における当社の合理化ノウハウは、住宅建築合理化システム「アキュラシステム」の名でパッケージソフト化され、全国の工務店・ビルダーなど、現在2,000社以上に導入されている。そして1998年には、財団法人日本住宅・木材技術センターより「新世代木造住宅供給システム」認定を受け、アキュラシステム導入企業を母体とする地域工務店・ビルダーによる全国ネットワーク「アキュラネット」を発足させた。

アキュラネット

住宅事業を展開する全国の地域ビルダー・工務店を結ぶ組織として1998年12月に発足。アキュラシステム導入企業を母体とし、アキュラホームが認可を受けた（財）日本住宅・木材技術センターが実施する「新世代木造住宅供給システム認定」による供給ルールに則り「新世代ハウス」を供給する全国ネットワークである。事務局を㈱アキュラホーム内に置き、同社代表の宮沢が主宰を務めている。

全国に広がる会員数は500社を超え、2002年度の木造住宅総受注棟数は6,631棟で、アキュラネット発足以来では19,000棟を突破、この実績は、住宅FC・VC等において日本最大級となる。また、「新世代ハウス」供給実績は、認定を受けている企業・団体の中で第1位となっている。（集計期間2002年4月から2003年3月まで）

技術力のある地域工務店・ビルダーが集まることでスケールメリットを創出し、加えて第三者機関による工事検査や（財）住宅保証機構等の住宅保証制度による保険、建設前の必須地盤調査などにより、大手ハウスメーカーに匹敵する安心の制度を確立して、高性能住宅「新世代ハウス」の普及に努めている。